

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
クラスタースタート	2018/8/15	JpnIII	盛岡	1200m	ハイペース	良	コース適性、先行力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	フレンドバリ	牝4	52	鈴木	アグネスデジタル	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
2	2	ナムラバイオレット	牝5	52	関本	チーフベアハート	ノーザン系	キンググローリアス	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		
3	3	コスモマイギフト	牡9	54	高松	アツミラーレ	サンデー系	スピニングワールド	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
	4	オウケンピリーヴ	牝5	52	北村友	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	C	B	B	C	B	B	△3	
4	5	ラブバレット	牡7	54	山本聡	ノボジャック	ノーザン系	バブルガムフェロー	サンデー系	A	A	A	B	A	B	◎	
	6	メイショウオセアン	牡7	54	坂口	アグネスデジタル	ミスプロ系	ダンスインザダーク	サンデー系	D	C	C	C	C	C		
5	7	コパノマイケル	牡5	54	田辺	ゴールドアリュール	サンデー系	ウォーニング	ミスプロ系	C	A	B	C	B	C	×1	
	8	メイショウアイアン	牡8	54	岩橋	マヤノトップガン	ロベルト系	デヒア	ノーザン系	C	B	B	C	B	A	▲	
6	9	ネロ	牡7	55	吉原	ヨハネスブルグ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	A	A	B	B	A	B	○	
	10	ディオスコリダー	牡4	55	津村	カネヒキリ	サンデー系	ワイルドラッシュ	アイスカベイト系	B	B	B	C	B	B	△1	
7	11	サンライズマーチ	牡8	54	山本政	Hard Spun	ノーザン系	Elusive Quality	ミスプロ系	D	B	D	D	D	D		
	12	ブライトライン	牡9	55	石橋脩	フジキセキ	サンデー系	King of Kings	ノーザン系	B	B	B	C	B	B	△2	
8	13	アスカダイヤモンド	牝4	52	村上	サウスヴィグラス	ミスプロ系	シンボリクリスエス	ロベルト系	D	A	D	D	D	D		
	14	カティサンダ	牡5	54	横山武	デュランダル	サンデー系	エルコンドルパサー	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
ラブバ コパノ ネロ オウケ デイオ メイオ ブライ ナムラ メイア  フレン サンラ アスカ コスモ カティ  ハイペース	<p>まずは過去3年のクラスタースタートの結果から。ポイントは2つ。1つはリピーター色が非常に強いこと。過去3年の3着以内馬9頭のうちダノンレジェンド、ブルドッグボス、ラブバレットと3頭のリピーターが誕生。ダノンレジェンドに関しては単純に能力が抜けていた面はあるが、それでも適性が非常に問われるレースなのは間違いないだろう。そしてもう1つは逃げ、先行勢の活躍が目立つこと。過去3年の3着以内馬9頭のうち8頭が4コーナー3番手以内。盛岡ダートは他場と比べて時計が非常にしやすいため、行った行ったが多発しがち。過去のクラスタースタートを見ても4コーナーで大勢がほぼ決しており、4コーナー=ゴールくらいの感覚で予想しているレースだろう。勝ち時計は一昨年が1分9秒1で、昨年が1分8秒8秒。芝並みのスピード能力が要求される。今年のクラスタースタートは隊列、展開が非常に読みやすい組み合わせ。ここはエルムステークス同様、まずはワイド、馬連、馬単1点で当てたいところだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>ラブバレット</b>の悲願のダートグレード初制覇に賭ける。(以下省略)</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	フレンドバリ		JRAで1勝を挙げて岩手に転入。2走前にA3で転入後、初勝利を挙げたばかり。ダートグレードでは何も出来ずに終わるだろう。		
2	2	ナムラバイオレット		前走はクラスタースタートと同条件の岩鷲賞に出走し、1分12秒1の走破時計。過去2年のクラスタースタートの勝ち時計は16年1分9秒1、17年1分8秒8。ダートグレードでは掲示板に乗るのも難しいだろう。		
3	3	コスモマイギフト		地元の笠松のA2で苦戦しているようでは岩手のオープンでも全く通用しないはず。ここは参加するだけだろう。		
	4	オウケンビリーブ	△3	勝ちに行かない分、漁夫の利的に馬券圏内に入ったんでくる可能性がありそう。前走スパーキングレディーカップは牝馬限定で低レベルなレースだったが、今回も大して強い馬は出走していないので、牡馬相手でも能力的に見劣ることはないか。		
4	5	ラブバレット	◎	昨年のクラスタースタートは逃げるサイタスリードを競い落として勝利目だったが、その後ろで待機していたブルドッグボスに差されての2着。勝負に勝って競馬に負けたようなレースで、内容的には最も濃かった。今年はライバルがダート未勝利のネロならダートグレード初制覇のチャンスだろう。		
	6	メイショウオセアン		前走岩鷲賞の2着フォルスは南関東のB1、B2で掲示板級の馬。3着ナムラバイオレットの実力を考えても、本馬がダートグレードで通用するとは思えない。		
5	7	コパノマイケル	×1	準オープン勝ち後、黒船賞10着、北海道スプリントカップ6着とダートグレードの壁にぶつかっている感じ。前走北海道スプリントカップではラブバレットに完敗。鞍上が田辺騎手なら積極的に乗るはずで、展開的にもラブバレット、ネロに挟まれて苦しい競馬になりそうだ。		
	8	メイショウアイアン	▲	転入初戦も圧巻だったが、2戦目のグランシャリオ門別スプリントが勝ち馬以上にインパクトのある走り。カツゲキライデンは北海道スプリントカップで勝ち馬テーオーヘリオスから1.0秒差の5着に健闘。本馬は北海道スプリントに出走していれば、上位争いしていたのではないか。		
6	9	ネロ	○	一時期はスタートが悪くなり、不振が続いていたが、中野騎手が騎乗した17年JBCスプリントを境に再びスタートが良くなり、近走は1200mなら安定した走り続けている。前走ききたま杯はコーナー4回のコースなので度外視可能。2走前の東京スプリントだけ走れば、上位争いには加わってくるだろう。		
	10	ディオスコリダー	△1	骨折明けだけに半信半疑。調教の動きから状態はそこまで悪くなさそうだが、目標はまだまだ先。いきなり能力全開で走ってくる可能性は低いだろう。レースの傾向を考えても勝ち切るのは難しいはず。		
7	11	サンライズマーチ		JRAで3勝を挙げたが、1000万下で壁にぶつかった馬。近走は衰えも顕著。ダートグレードでは苦戦必至だろう。		
	12	ブライトライン	△2	前走プロキオンステークスが約1年ぶりの実戦。レースに見どころがあったわけではないが、2着インカンテーションから0.6秒差なら着順から受ける印象ほど悪い走りではない。今回はメンバーレベルがグッと下がるので、脚質的に勝ち切るイメージは湧かないが、馬券圏内ならチャンスは十分にあるだろう。		
8	13	アスカダイヤモンド		前走岩鷲賞は勝ち馬メイショウオセアンに完敗。ダートグレードでは荷が重い。		
	14	カティサンダ		南関東のC1で通用せず、笠松に転厩した馬。スタートからダートグレードのスピードについていけないだろう。		